

全医労保育所ニュース

2016年度以降の院内保育所委託先 ピジョンに決定！



“みんなで作って、美味しく食べたよ！”(芋煮会)
東京病院「なかよし保育園」

**三者（支部・保育所・保護者）の力が結集
引き続き「三者の連携」を強めていこう**

独法施設院内保育所の2016年度以降の運営委託先について、全医労は「安全・安心な保育所運営の継続を図るよう」申し入れてまいりましたが、11月27日、第二共済組合本部から「保育所選定委員会」で検討の結果、「ピジョンに決定」との報告がありました。

11月12日、ピジョン(株)はプレゼンテーションを行い、選考委員会での総合評価の結果、委託先(案)が出され11月27日正式に決定しました。委託先の決定に関しては、今後、組合側運営審議会委員に對してあらためて説明がなされる予定です。(FAXニュース第22号より)

様々なとりくみで

この間、全医労では保育の質、職員の雇用・労働条件の継続を前提とした委託業者を選定するよう、第二共済組合所属所長・本部長宛の保育所要求書の提出や要求署名・ひとこと署名のとりくみ、「保育所問題プロジェクト」を開催し意思統一、第二共済組合へ

の署名提出・要請行動をするなど、できる限りの行動を行いました。

結果、要求署名は12,337筆集まり、支部・地方協会は各種会議で訴えるなど短期間で多くの署名を集めました。ひとこと署名は、995人分を集めました。

ひとこと署名より

「保育所があつたから働けた」「長年培った保育を続けられるよう、保育士さんたちが働き続けられる保育所をお願いしたい」など保護者の声、保育士からも「家庭的で

全保育所でとくもう!

- ☆ 2015年保育所実態調査
- ☆ 2016年春闘要求アンケート
- ☆ 国の保育等支援施策を求める署名
- ☆ 組織率60%以上をめざそう

子どもが安心して過ごせる環境づくりをしたい。子ども の成長を共に喜び、 やりがいを感じる 保育が続けたい。な どのメッセージが 届けられました。

12月20日(日)には、処遇改善要求で地方協代表によるピジョンとの団体交渉を実施します。地方協代表は、できる限り地方協内各園の意見・要望をまとめて出席してください。

三者が力を合わせたとりくみの成果といえます。

団結してがんばろう

院内保育所の充実・強化のためには組織の力が重要です。委託先決定をすべての保育所職員・保護者に報告するとともに組合への加入を呼びかけ仲間をふやしましょう。

ピジョンとの団交 12/20に実施 すべての保育所職員に加入を呼びかけよう



12/20の団体交渉では、左記のような「要求書」をピジョンに提出しています。各地方協の代表は、支部・地区・地方協の要求をまとめ、交渉に臨んでください。

2015年11月17日

ピジョン株式会社
代表取締役社長 山下 茂 殿

全日本国立医療労働組合
委員長 佐藤 晃一

2015年秋年末「労働条件改善を求める要求書」

1. 職員の雇用および処遇改善

- (1) 保育に支障を来すことのないよう職員を確保すること。
- (2) 必要人員は契約社員で雇用し、退職者や産休代替等の補充をすみやかに行うこと。
- (3) 給食担当職員(栄養士、調理師)を全員契約社員にすること。
- (4) 労働契約法に基づき、有期雇用から無期雇用へ雇用転換を図ること。
- (5) 試用期間中の職員を社会保険に加入させること。
- (6) 再雇用者の労働時間数の拡大等、処遇改善を図ること。
- (7) 年金支給の引き上げに連動し、定年年齢を引き上げること。

2. 休暇制度

- (1) 年次有給休暇の取得促進を図ること。当面8割取得をめざし、具体的な方策を図ること。
- (2) 夏季休暇を有給で新設すること。また夏季に連続した休暇が取得できるようにすること。
- (3) 時間年休取得の対象者は全職員とし、時間数の拡大を図ること。
- (4) リフレッシュ休暇を有給で新設すること。
- (5) 病気休暇、介護休暇、生理休暇の有給化を図ること。
- (6) 忌引き休暇について、父母、配偶者及び子女(養子を含む)付与を7日とし、すべての職員を有給化すること。
- (7) パート・アルバイトの結婚休暇の5日すべてを有給化すること。
- (8) 職員の仕事と子育ての両立支援を図ること。
- (9) 積立休暇の取得事由を拡大すること。

3. 業務改善

- (1) 園長業務の簡素化を図ること。また、副園長・主任を新設し、事務職員を配置すること。
- (2) 超過勤務縮減と休憩時間の確保について対策を講じること。
- (3) 一人勤務の時間帯が発生しないよう勤務体制を徹底すること。
- (4) 給食業務は食育と食の安全の観点から、自園給食を全園で実施すること。
- (5) 運営方法の変更に当たっては、保育所職員・保護者に情報を知らせ、意見を十分に聞くこと。
- (6) 定期的に被服の貸与を図ること。

4. その他

- (1) 保育所建物の耐震性や老朽化、危険箇所は早急に改善を機構本部・施設に要請すること。また、災害時の避難誘導及び連絡体制は施設と連動したものにしよう働きかけること。
- (2) 子どもの安全確保のため、携帯電話を各園に常備すること。
- (3) 保育の質向上のため、研修の充実を図ること。
- (4) 保育委員会を定期的に開催するよう働きかけること。

以上

楽しくためになる保育所交流集会でした♥

関信保育所交流会報告



関信保育所交流集会は、9月5日(土)全医労会館ホールにて、9園 25名の参加で開催されました。全体の参加数は少なかったものの楽しくためになる学習と交流ができました。

集会は、小関副会長(犀潟・さくらんぼ)と大津委員(水戸・つくし)の司会で全体会を進行しました。

辻委員(東京・なかよし)の開会挨拶にはじまり、枝野会長(宇都宮・なかよし)の挨拶、本部佐々木中央執行委員と地方協吉崎書記長の挨拶、深津事務局長の基調報告を行いました。戦争法案、院内保育所を巡る情勢と全医労の取り組み、全医労の院内保育所運動の歴史など、分かりやすく報告し、初めて参加された皆さんからも好評でした。

休憩を挟んで、元相模原たんぼぼ保育園保育士でプロの人形劇士の上村徳子さんからの講演と人形劇の講習です。上村さんご自身の人生、保育士としての生き方、労働組合の大切さのお話とテンポの良い人形劇講習は、とても好評でした。

その後は、「乳児」「幼児」「給食」に分かれての分散会です。分散会では他の園の状況や悩みなどの情報交換が出来たと、こちらも好評でした。

最後に、参加者全員から感想を発表、枝野会長のまとめ、戦争法案廃案決議のあと、村田副会長(東京医セン・ひまわり)の閉会挨拶で、集会の幕を閉じました。

次回は、もっとたくさんの園から大勢の参加で成功させましょう。また来年も会えることを楽しみにしています。

15.9.7 付 全医労関信書記局報告より



組合説明会の案内状は 院内保育士さんの手作りで♪



北海道北医セン支部では院内保育所の保育士が支部執行委員になってから、組合説明会の案内状を手作りしています。先生の“すご技”に支部もビックリ!こんなカードをもらったら新人さんも嬉しいですね。

みんなで協力して保育所を守っていこう

九州保育所会議報告

11月28日(土)九州地方協保育所会議が九地協会館で開催され、8地区代表、保育所連絡会代表、九地協、本部合わせて24人が参加しました。

会議は吉田書記長の和やかな進行、九州保育所連絡会代表の五反田さん(川棚・さくら)の開会挨拶で始まりました。自己紹介の後、九地協を代表して佐保女性部長、本部から森書記の挨拶がありました。



続いて、津田書記次長が情勢と私たちがとりくむべき運動をわかりやすく基調報告。お昼を挟んで各地区報告、討論と続けました。

園舎老朽化の問題では、特に宮崎東の例が出され、他にも問題になっている南福岡・大村・琉球についても支部要求を粘り強く出しながら、新築・増築等に向けて施設を動かそうと話し合いました。また、施設管理は病院であることから、安全衛生委員会の職場巡視には保育園も含めるよう要求しようと話し合いました。

さらに本部・九地協のピジョン交渉に向けて、特に「人員確保」「すべての職員の賃金・手当アップ」「夏季休暇(連続した休み)」「園長業務の簡素化と業務に専念できる環境作り」「パートの時間年休」「住居手当」等の改善を強く求めていこうと意見が出されました。

三者の連携では、「保育委員会の前に三者委員会を開催」(南福岡)の例も出され、信頼関係を築きながらとりくみを進め、改善している報告がありました。また、保育所からも支部の執行委員になったことで、「保護者の働き方や情報交換ができる。組合拡大にもつなげていきたい」(西別府)との意見も出されました。

また、福岡地区では「保護者、子どもも参加できる楽しい企画で、保育所の歴史も学べる地区の保育所集会を企画中」、沖縄地区では地区内2園で初めて交流会を行い「今後も職員との交流、情報交換の場として続けたい」と報告がありました。

組織拡大では、組合員ゼロ保育所が2園克服され、九地協の組織率は上がりましたが、2月15日基準日に向けて安定的過半数をめざそうと話し合いました。

最後に、津田書記次長がまとめを行い、「入園時に必ず院内保育所の歴史を説明する園や地区のとりくみにならない、各種行事で院内保育所をアピールしながら、組合に結集して次世代に伝える運動を進めよう」と意思統一し、九州保育所連絡会代表の冨田さん(熊本・二の丸)の閉会挨拶で散会となりました。